

西暦 2025 年 8 月 15 日 第 1 版  
(臨床研究に関する公開情報)

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 急性胆囊炎に対する内視鏡的経乳頭的胆囊ドレナージ(ERGBD)後の腹腔鏡下胆囊摘出術の治療成績

[研究責任者] 外科 廣田 政志

[研究の背景]

ガイドライン上、急性胆囊炎に対する標準的ドレナージ法は経皮経肝胆囊ドレナージ(PTGBD)が推奨されています。一方、抗血栓薬内服など外癒となる PTGBD が困難な場合には ERGBD が検討されます。

ERGBD は内癒化が可能となり、患者負担も少ないので、ERGBD 後の手術成績についての報告は少ないです。

[研究の目的]

当院では 2021 年より ERGBD 後に腹腔鏡下胆囊摘出術を施行しておりその治療成績について検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

急性胆囊炎の患者さんで、西暦 2021 年 1 月 1 日から西暦 2025 年 7 月 31 日の間に ERGBD 後に腹腔鏡下胆囊摘出術を受けた方

●研究期間：西暦 2025 年 8 月 25 日から西暦 2026 年 4 月 30 日

●以下のカルテ情報を利用します。

カルテ情報：臨床所見（年齢、性別、重症度、内服薬、既往歴、留置期間、待定期間）、  
血液所見、手術成績（手術時間、出血量、回避手術、開腹移行、合併症、  
術後在院日数）

●カルテ情報の管理

カルテ情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発

表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

外科 廣田 政志

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913